

第 3 年 次 編 入 学 生 募 集

神戸大学理学部数学科

数学科教育指導内容

神戸大学の数学科では、近年の科学研究の発展に伴う新しい研究分野の誕生や学際化に対応して、解析数理、構造数理、応用数理の3つの大分野を用意して教育と研究を行っています。

主要な内容は、微分方程式・差分方程式で定義される線形系・非線形系の教育研究、フーリエ解析、数理物理に現れる偏微分方程式のスペクトルと散乱理論、複素関数論、特殊関数論及び関連する微分方程式、整数論、代数幾何、微分幾何、結び目及び絡み目、確率論、組合わせの数理、数理科学に現れる計算方法、その計算機上での効率的実践と計算システムの開発、です。

学問研究の発展はこうした分野の枠さえも越えて発展しています。例えば、近年の理論物理と数学の相互作用には、代数・トポロジー・確率や複素解析・微分幾何が総合的に関与した一大パラダイムの発現がみられます。神戸大学の数学科もこの新しい発展に寄与しています。

編入学試験について

神戸大学理学部数学科では、第3年次への編入学生を受け入れています。試験内容は、数学（微積分・線形代数の基礎など）と英語の筆記試験と面接試験です。数学を定理や公式の単なる羅列とは考えずに、その意味や証明をじっくりと考えることの好きな人に数学科で数学を学ぶことを勧めます。定員は5名ですが、そうした人達が受験されることを期待しております。

過去の編入学試験のデータは次の通りです

| | | | | |
|----------|-----|-----|-----|-----|
| 2002年 7月 | 応募者 | 22名 | 合格者 | 7名 |
| 2003年 7月 | 応募者 | 25名 | 合格者 | 8名 |
| 2004年 7月 | 応募者 | 24名 | 合格者 | 11名 |
| 2005年 7月 | 応募者 | 25名 | 合格者 | 8名 |
| 2006年 7月 | 応募者 | 34名 | 合格者 | 12名 |
| 2007年 7月 | 応募者 | 21名 | 合格者 | 12名 |

編入学後の学習について

第3年次に入学しますので、2年間で卒業が可能なカリキュラムを組んでおります。また、現代数学の基礎となる授業科目を第2年次と第3年次に入れておりますが、皆さんの関心に応じられるように、重複がないように時間割に工夫します。そして、1年後には、数学講究（セミナー）を受講していただくことになります。これは、数人のグループで教員の指導を受けながら、おもに外国語で著された専門書を輪読するものです。セミナーでは内容を解説し、議論を通じて他人を納得させることが要求されます。単に本にはこう書いてあるというだけでなく、数学の内容を完全に理解することが求められます。厳しい一面もありますが、数学の本質に接するととても大切な機会です。こうしたセミナーに参加することで、論理的かつ抽象的な思考が鍛えられます。

卒業後の進路

卒業後の進路には就職と進学があります。近年は、コンピューターの発達に伴い企業からの求人が多くなりました。論理的・抽象的思考方法に慣れ、自由な発想に富む数学科卒業生は各企業で高い評価を受けています。

大学院（理学研究科数学専攻）に進学して数学をもっと深く勉強する道もあります。社会のニーズが多様化して、大学院修了生に対する企業の求人も増えています。また、相応の努力が必要ですが、博士課程後期課程に進学したり、さらに、研究者になることも可能です。

出願期間：6月2日～5日

連絡先 神戸大学理学部数学科

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

電話 078-803-5608 FAX 078-803-5610

編入学試験は7月5日～6日で、募集要項は5月に発行予定です
ホームページ（<http://www.math.kobe-u.ac.jp/index-j.html>）にも記載する予定です